

病児・病後児保育室きしゃぼっぼ便り

2024年12月号

今年も残すところあと1か月となりました。空気が乾燥してくるこの時期は、風邪やインフルエンザ等の感染症が流行し始めます。手洗い、うがいをしっかりして、体調管理に十分注意しましょう。



11月の利用状況

【年齢】	0歳	6%	【疾患名】	感冒	28%
	1歳	17%		急性上気道炎	13%
	2歳	15%		気管支炎	15%
	3歳	8%		扁桃腺炎	6%
	4歳	15%		ムンプス	9%
	5歳	9%		マイコプラズマ	8%
	6歳	15%		クループ	2%
	7歳	4%		中耳炎	2%
	8歳	11%		その他	17%



年末・年始の開室、お休みのお知らせ

12月28日(土)
～1月5日(日) } お休み

1月 6日(月) 通常通り8:00～18:00 開室

～冬に感染しやすい病気や対策は?～

冬に感染症が流行しやすいのはなぜ?

ウイルスは、気温15度以下・湿度40%以下の低温・低湿度の環境になると、表面の水分を失い空中に浮遊しやすくなります。それによって生存時間も長くなるため、冬は感染症が流行しやすいのです。

また、冬は寒さや乾燥によって人の体温も下がりがちで、それによって免疫力も低下しがちです。冬場は人も感染症に感染しやすい体になっています。



冬にやるべき感染対策は?

感染症にかからないためには、毎日の予防・感染対策が大切です。基本的な感染症対策と、特に冬に大切な感染症対策をご紹介します。

基本的な感染症対策

規則正しい生活、人混みを避ける、十分な睡眠や栄養バランスの取れた食事、適度な運動などで、日頃から感染症への抵抗力をつけておくことが大切です。手洗いや換気なども1年を通してしっかり行いましょう。



冬に大切な感染症対策

冬は空気が乾燥しがちです。喉や鼻の粘膜が乾燥するとウイルスが体に侵入するのを防ぎづらくなってしまいますので、加湿をしっかりと行いましょう。濡れたタオルや洗濯物を室内に干したりして快適な湿度を保ちましょう。

冬に流行する感染症

- ・風邪
- ・インフルエンザ
- ・RSウイルス
- ・感染性胃腸炎
- ・溶連菌感染症
- ・マイコプラズマ肺炎

冬に大切な感染症対策

- ・規則正しい生活
- ・こまめな手洗い、うがい、手指衛生
- ・部屋の換気
- ・人混みを避ける
- ・加湿する

湿度は40～60%
ほどに保つ



新潟市病児・病後児保育事業

下越病院併設 病児保育室きしゃぼっぼ

〒956-0814

新潟市秋葉区東金沢町1459-6

Tel 0250-23-5170

(受付時間 7:45～18:15 土日祝日休み)